



2023年10月9日(月・祝)、代々木公園で行われる予定だった野外礼拝は、雨天のため、純福音東京教会の大聖殿で行われました。



目次

- P2 : 2023年 夏季祝福聖会
- P3 : 札幌聖殿 創立5周年祝福聖会
- P4 : 担任牧師コラム「苦難に会う時」
- P4 : ロンドン聖会「チョー・ヨンギ先生追悼礼拝」

家族新聞は、WebとLINEでもご覧になれます。

Webページ



公式LINE



2023年 夏季祝福聖会

2023.8.9(水)-11(金)

2023年8月9日(水)～11日(金)、台北新店行道教会担任牧師のジャン・マオソン牧師と台北純福音教会担任牧師のジャン・ハンオブ牧師を講師としてお招きし、夏季祝福聖会を開きました。

8月9日と11日に御言葉を宣べ伝えたジャン・マオソン牧師は、46年前に新店行道教会を開拓してから台湾で最大の教会として成長させて、海外に5つの支教会と台湾

内に70の教会を設立した台湾教界の最高指導者です。

そして、また、9日と11日に、ジャン・マオソン牧師のメッセージの通訳を担当し、10日には御言葉を取り次いだジャン・ハンオブ牧師は、1992年に台北純福音教会の2代目の担任牧師として就任し、エズラ使役研究所や台湾ヨンサン神学院を設立するなど、現在も台湾のリバイバルを牽引する福音伝播者です。

聖会初日:あなたの初めは小さくあっても(ジャン・マオソン牧師)

あなたの初めは小さくあっても、あなたの終りは非常に大きくなるであろう。
—ヨブ記8:7—

ジャン・マオソン牧師は、「あなたの初めは小さくあっても」という主題でメッセージを取り次ぎました。

「からし種のような信仰さえあれば、素晴らしい奇跡が体験できます。自分を制限していることから免れ、劣等感と不可能などの否定的な考えは捨てて、勇敢に進まなければなりません。」と伝えました。そして、聖霊様の御声を切に求めて、聖霊様の臨在により、恵みを体験する聖徒となること、そして、純福音東京教会に聖霊の火が働かれることを宣言しました。



聖会2日目:人生のターニングポイント(ジャン・ハンオブ牧師)

さて、カイザリヤにコルネリオという名の人があった。—中略—「神がきよめたものを、清くないなどと言ってはならない」。こんなことが三度もあってから、その入れ物はすぐ天に引き上げられた。
—使徒行伝 10:1-16—

ジャン・ハンオブ牧師は、「人生のターニングポイント」という主題でメッセージを取り次ぎました。

「人生で一番の貴重な出会いは、イエス様との出会いです。イエス様と出会うと、私たちに神様からのビジョンが与えられます。神様は祈る人を通して、働かれます。そして、コルネリオとペテロの出会いのように、固定観念を崩して、従順すれば神様が働かれます。祈り、従順する聖徒を通して、日本に素晴らしいリバイバルを起こしてください。」と聖徒を励ました。



メッセージの後、キム・ギョンスク宣教師が証を分かち合いました。台湾のタイトンで献身しているキム・ギョンスク宣教師は、貧困家庭の子どもを対象とした無料教育センターを運営しています。教育センターの設立過程における奇跡の体験を話し、この教育センターを通して子どもたちが成長していること、そして今は、その子どもたちが愛の分かち合いを主役となって実践し始めていることを話しました。この証を通して、キム・ギョンスク宣教師は、「クリスチャンが見えない神様の愛を“見えるもの”として現わし、分かち合うことがとても重要です。」と伝え、証を締めくくりました。

聖会最終日:大山よ、おまえは何者か(ジャン・マオソン牧師)

大なる山よ、おまえは何者か。おまえはゼルバベルの前に平地となる。彼は『恵みあれ、これに恵みあれ』と呼ばわりながら、かしら石を引き出すであろう。
—ゼカリヤ書 4:7—

ジャン・マオソン牧師は、「大山よ、おまえは何者か」という主題でメッセージを取り次ぎました。

「人生の中に、大きい山、小さい山(問題)があります。私たちの力ではなく、神様の助けが臨まれると、問題が解決されます。神様が共におられると、大きい山が消え去ります。」と宣べ伝えました。そのため、問題を恐れずに、神様に頼り祈って、勝利する純福音東京教会の聖徒となるように、と祝福しました。



札幌聖殿 創立5周年祝福聖会 2023.9.6(水)



—前略— まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。だから、あすのことを思いわずらうな。あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう。—後略—

—マタイによる福音書6:25-34—

2023年9月4日～7日、北海道宣教会を中心とする純福音東京教会の宣教団は北海道を訪れ、9月6日(水)午後7時より、札幌聖殿の創立5周年を記念し、祝福聖会を捧げました。

志垣重政担任牧師は、「まず神の国と神の義とを求めなさい」という主題でメッセージを取り次ぎました。

「聖書全体のメッセージは “驚いてはなら

ない、思い煩うな”です。主を信頼すれば、主にあって、喜ぶことができます。神様の御言葉を信じ、頼り、心配しない時に、奇跡を体験できます。神様の中で、平安を得る聖徒となりますように。」と祝福しました。

メッセージの後、北海道宣教会長であるパク・ヒギョン勸士が、神様の導きで建てられた札幌聖殿設立の経緯を説明し、祝辞を述べました。(詳細は下記を参照)

札幌聖殿は北海道地域の霊的拠点として、純福音東京教会が札幌の地に2018年9月に創立しました。そして、札幌神学校は、志垣重政担任牧師が故チョー・ヨンギ先生の遺志を継ぎ、コロナ禍を経て2022年4月に開校しました。

札幌聖殿により一層の大きなリバイバルが起こり、北海道地域を癒すことができますように、そして、札幌神学校を通して、日本全域に福音が宣べ伝えられますように、切にお祈り致します。



純福音東京教会札幌聖殿 5周年記念祝辞



46年前、純福音東京教会が汝矣島純福音教会の海外における長子教会として建てられてから今日に至るまで、純福音日本総会は80の教会を日本の大都市を中心に建てあげることができました。然し、東京都区部、横浜市、大阪市、名古屋市に次ぐ日本第五番目の都市である札幌に総会の宣教師が教会設立を三度にわたり挑戦しましたが、その目的を達成する事は出来ませんでした。日本宣教、特に札幌宣教の難しさをつくづく感じさせる出来事でした。

2017年の秋、担任牧師志垣重政先生が講壇で祈っている時に札幌聖殿創立に関するヴィジョンが聖霊様の強い導きの中で与えられ、祈れば祈るほどその想いが強くなり、2018年3月、志垣先生は、まだ雪の残る札幌を一人で訪れ、教会に相応しい土地建物を探し求めましたが、心に響く物件はありませんでした。翌4月にも訪れましたが、決定的な物件を探す事は出来ませんでした。そして、やはり翌5月も同様の結果でしたが、帰り際に不動産業社の担当が、『予算より3倍の規模になりますが、学習塾が建てたビルで、先生用の寄宿舍用マンション付きの物件が出ましたが、見て帰りますか』の問いに、応諾してこの地を訪れました。その瞬間、札幌聖殿と札幌神学校の構想が与えられ、かねてから祈っていた100チャーチのヴィジョンにつながり、先生は、帰京して切に祈られました。確信が与えられ、1週間後に田中長老をはじめとして主要機関長7名と共に札幌を訪れ、皆で祈り、全員の喜びの賛成を経て、札幌聖殿の購入が決まったのです。6月の事でした。

教室を礼拝堂にリモデリングし、2018年9月3日に純福音東京教会の聖徒100名と共に現地を訪れ、創立礼拝を捧げましたが、その帰京の際、台風の影響で全便が欠航となる中、私たちが利用した航空会社だけが多少の遅れはあったものの欠航にならず、事なきを得た事が昨日の事の様に思い出されます。全てが神の恵みでした。

あれから5年、チェ・ジンギユ牧師、ファン・マンヨン牧師、ベ・ジョンスク伝道師を経て、今年の3月には韓世大学副総長を務めたキム・ジョンイル牧師を迎え、更なる跳躍の機会が与えられた事を主に感謝いたします。コロナ禍の中での札幌神学校設立は、大変厳しいものでした。それでも、按手執事会や初代北海道宣教会長ユン・ソヨン勸士をはじめとする多くの聖徒の祈りに支えられ、2022年4月に第1期生を迎えて、開校礼拝が捧げられ、今年は第2期生を迎える事ができた事も、全て神の恵みです。

純福音東京教会札幌聖殿のリバイバルの為に切にお祈りいたします。そして、北海道宣教の基地としての働きはもとより、日本宣教の原動力となる宣教師を養成し、札幌農学校が新渡戸稲造、内村鑑三、三浦綾子を輩出したように、第二のチョー・ヨンギ先生を輩出する素晴らしい教会、神学校としてのリバイバルがありますように、イエスキリストの御名によってお祈りいたします。

2023年9月6日 純福音東京教会北海道宣教会 パク・ヒギョン勸士

志垣重政担任牧師コラム 『勝利のための武装』



それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当てを胸につけ、平和の福音の備えを足にはき、その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。また、救のかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち、神の言を取りなさい。 —エペソ6:13~17—

カインによる殺人でアベルの血が流されて以来、人類に戦争のない時代はありませんでした。なぜ、国々は軍備増強に力を注ぐのでしょうか。建前の上では、国防のためですが、その延長線上には侵略があることを否定することはできません。

肉の戦争だけでなく、霊の戦いにおいても論理は同じです(第Iペテロ5:8-9)。戦いに勝利する為には武装が必要なのです。

第一に、真理の帯を締めましょう。人の体は腰が中心であり、腰を痛めると何もすることができなくなります。アダムとエバがエデンから追放されたのは、悪魔の偽の真理、すなわち、『神のようになれる。』に惑わされ、真理の帯を解いてしまったからです。真理の帯とは、イエス様を救い主として信じること、罪の赦しを信じること、『神から来て、神のために生き、神の御許に還ること』を信じること、そして天国が私たちのために準備されていることです(ヨハネ14:6)。

第二に、義の胸当てを着けましょう。罪はギリシャ語で『ハマルティア』ですが、射た矢が逸れることを表しています。義とは神様中心の暮らしに戻って行くことです。悪魔はそれを逸らそうとして矢を放ちます。私たちは義の胸当てでその攻撃を防がなければなりません。

第三に、平安の備えの靴を履きましょう。靴は人の行為を表します。残念ながら、人類には正しい行為を全うする力がありませんから、行動を起こせば、必ず罪・不義・醜悪・呪い・絶望・戦争が生まれます。

しかし、私たちには平安の福音があります。神様との和解の靴を履き、癒しの靴、祝福の靴、永生の靴を履くことができます。悪魔は『神はあなた方を見捨てた。』と囁きます。でも、この靴を履けば、悪魔に惑わされなくなるのです。

第四に、信仰の盾を取りましょう。悪魔は環境を感覚を通して総攻撃を仕掛けてきます。その攻撃を信仰の盾でかわすのです。信仰の盾を取ることは、御言葉の上に立つことです。

第五に、救いの兜を被りましょう。兜は頭に被るものですが、私たちの想いをキリストの救いでいっぱいにするのです。この世に頼るべきものは存在しません。どんな栄耀栄華もひと時の霧に過ぎません。救いの想いで一杯になることは、平安充満を表し、最高の幸福を勝ち取ることです。

最後に、聖霊の剣、すなわち御言葉の剣を取りましょう。前の五つの武具は全て防御用ですが、剣は唯一攻撃用です。御言葉の剣に対抗し得るものは存在しません。聖書に7000余りの約束があるということは、私たちの手に7,000の剣があることと同じです。“もし、神が私たちの味方であるなら、誰が私たちに敵し得ようか。(ローマ8:31)”、“あなたのみ言葉はわが足の灯、わが道の光です(詩篇119:105)”。神様が下さった鎧で全身を固め、死から生へ、病から癒しへ、貧困から富裕へと進撃し、皆さんが通った全ての大地が祝福の地に変えられますように。

ロンドン聖会 「チョー・ヨンギ先生追悼礼拝」 2023.9.14(木)

9月14日(現地時間)、志垣重政担任牧師が事務総長を務めるDCEM(David Cho Evangelistic Mission)は、キム・ヨンボク牧師が担任牧師を務めるイギリス最大の韓国人移民教会、ロンドン純福音教会を訪れ、チョー・ヨンギ先生追悼礼拝を捧げました。

ロンドンの聖徒に加えて、ヨーロッパ各国の宣教師、そして世界中の純福音教会の宣教師が一堂に会し捧げられた今回の追悼礼拝では、汝矣島純福音教会の担任牧師、イ・ヨンファン牧師が講師を務めました。

「1967年4月、イギリスのセントラルホール・ウェストミンスターで開かれたイースター礼拝が、チョー・ヨンギ先生の最初の海外宣教の働きでした。チョー・ヨンギ先生の二周年忌であるこの機会に、このイギリスの地で準備された追悼礼拝は、意義深いものだと感じています。」と今回の追悼礼拝への思いを語りました。そして、「アンテオケ教会の栄光(使徒行伝 13:1-3)」という主題でメッセージを取り次ぎました。

メッセージの後、DCEMが用意した映像を用いて、チョー・ヨンギ牧師が生前に残した功績を改めて振り返った後、志垣重政担任牧師が追悼の辞を述べました。

「世界を120周回り、70カ国350都市でチョー・ヨンギ先生に仕えて、聖会を共にしました。これはすべて神の恵みでした。先生は私たちに多くのことを教えてくださいました。天国に行かれた先生を覚えながら、聖霊に満たされる信仰生活を送りますように。」と伝え、宣教師とロンドンの聖徒を祝福しました。

